

1. 自校の課題及び課題解決に向けて取り組んだ内容

[自校の課題]

- ・勤務時間の適正化に向けて教職員の意識を高める。
- ・教職員の勤務の負担を軽減しつつ、学習指導や生活指導などの課題解決に向けて子どもと向き合う時間を確保する。
- ・データの共有化を進め、一層のICT化を図る。

[課題解決に向けて]

- ・学校業務改善実践委員会を立ち上げ、全教職員の共通理解と学校業務のIT化を推進する。
- ・「ノー残業デー」や「ノー会議デー」を設定や時間外勤務記録簿の記入で、勤務時間の適正化や子どもと向き合う時間の確保に取り組む。
- ・心身両面にわたるリフレッシュと健康の増進を図るために年休取得の促進を図る。

2. 取り組みの成果（数値等も含めて具体的に記入）

- ・週2回の朝の打ち合わせ並びに、月1回の職員会議では、極力文書類を減らし、事前にPC画面上に職員会議の協議事項や各校務分掌担当からお知らせしたい事項を掲載したり、PCを使ってプロジェクターによる連絡や協議を行ったりしている。その結果、印刷に係る時間や経費が削減されてきた。プロジェクターを使用することにより課題が明確になり、分かりやすい説明で思考や理解が進み、協議内容の充実が図られてきた。ただし職員会議終了時刻に大きな違いはみられなかった。
- ・校務分掌ごとにPC内にフォルダを作成したことにより、担当者の引継ぎがスムーズになり、データの共有化で勤務の負担が軽減されている。
- ・「ノー残業デー」を木曜日に設定し、職員室の黒板に掲示することで、教職員の意識が高まり、勤務時間終了時に退勤する教師が増えてきた。
- ・時間外勤務記録簿をPC入力することで、記録簿記入のための時間が軽減されると共に、各自の超過勤務時間を意識する教職員が増えてきた。
- ・夏季休業中の年休取得の推進を図るため管理職が率先して5日取得し、教職員に呼びかけ夏季休業中の平均年休取得日数は4.32日となり、5日間の夏季特別休暇と合わせ休業期間中のリフレッシュにつながった。



職員室でプロジェクターを活用しての会議

3. 管内の学校への普及状況（方策も含めて具体的に記入）

- ・7月に町教育委員会主催で学校教職員勤務時間適正化推進委員会が開催され、情報交換を行うと共に、学校業務改善に向けて協議した。
- ・10月に多可町内10校の教頭会で学校業務改善の実践報告と情報交換を行う。

4. 今後の取り組み（年度末に向けて重点的に取り組むこと等を具体的に記入）

- ・校務でのPC活用を一層推進すると共に、学習指導の充実にもICT化を進めていく。
- ・学習指導要録並びに通知簿をデジタル化して、勤務の負担を軽減していく。
- ・年休取得の促進に取り組む。